平成26年度
文化庁映画賞
文化記録映画優秀賞

第88回
キネマ旬報ベスト・テン
文化映画部門 第1位

第2回
グリーンイメージ国際環境映像祭
グリーンイメージ賞

第56回
科学技術映像祭
内閣総理大臣賞

Web予約
PC・モバイル共通
http://bit.ly/2yRaHye

祖父が指さした山の向こうには、
失われた鳥猟の世界がありました。

長編ドキュメンタリー

鳥の道を越えて

禁猟後67年を経て、
鳥と人間の関係を改めて見つめ直す。

日時 2017年12月13日(水) 19:00～

トーク 今井友樹さん『鳥の道を越えて』監督

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般＝500円／学生、大竹財団会員＝無料
定員30名【要予約】

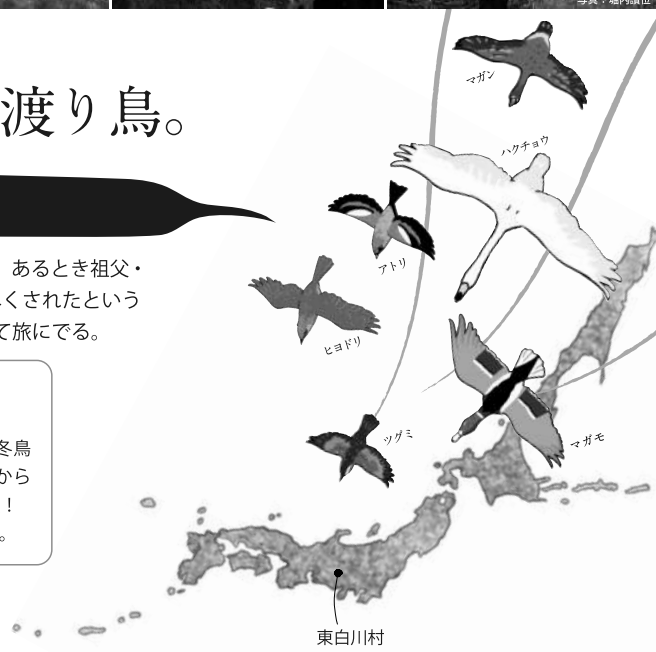
主催 一般財団法人 大竹財団　03-3272-3900
http://ohdake-foundation.org

今井友樹　初監督作品

制作 鈴木正義　今井千洋　**撮影** 澤幡正範　川口慎一郎　永山正史　箕田朗子　佐藤孝博　今井洋介　早川正文　**録音** 高木創　**作図** 岩井友子
音楽 フルート 姫田大　**監修** 佐藤文男（公益財団法人山階鳥類研究所）　**共同製作** CINE-CLIMB　**企画・製作・配給** 工房ギャレット
助成 文化芸術振興費補助金　公益財団法人トヨタ財団　2014年／93分／日本／ドキュメンタリー

写真：堀内讃位

日本に飛来する膨大な数の渡り鳥。



祖父の見た“鳥の道”を、見てみたい！

映画の舞台は監督・今井友樹の出身地、岐阜県東白川村。あるとき祖父・今井照夫から、かつて故郷の空が渡り鳥の大群で埋め尽くされたという話を聞かされる。孫である監督は“鳥の道”を探し求めて旅にでる。

日本は有数の渡り鳥の飛来地なのだ！

渡り鳥は、季節毎に住む場所をかえる習性があります。冬鳥の場合、秋になると越冬のため、大小様々な鳥がロシアから大挙して日本に渡ってきます。その数、なんと約100種類！しかし、年々その飛来数が減少しているといわれています。

人は、渡り鳥のいのちを〝生活の糧〟にしていた。

鳥を捕って食べる?!

渡り鳥の大群が渡っていた時代、秋になると村では「カスミ網猟」が行われていた。捕って食べるためである。渡り鳥を「カスミ網」でどのように捕まえたのか。なぜ渡り鳥を食べなければならなかったのか。そしてなぜ現在は禁猟になっているのか。旅の過程で生まれるひとつひとつの疑問を丹念に追っていく。

カスミ網猟って何なの？

秋の季節に渡って来る山越しの渡り鳥を捕獲する張り網のことです。遠くからみると網がかすんでみえることからカスミ網と呼ばれています。 1947 年（昭和 22 年）にカスミ網猟は禁止されました。

鳥の道を越えた先には、何があるのだろう？

長編ドキュメンタリー

鳥の道を越えて

監督 今井友樹

制作 鈴木正義　今井千洋　撮影 澤幡正範　川口慎一郎　永山正史　箕田朗子　佐藤孝博
今井洋介　早川正文　録音 高木創　作図 岩井友子　写真 堀内讃位
音楽 フルート 姫田大　監修 佐藤文男（公益財団法人山階鳥類研究所）　共同製作 CINE-CLIMB
助成 文化芸術振興費補助金　公益財団法人トヨタ財団　企画・製作・配給 工房ギャレット

2014年／93分／日本／ドキュメンタリー

写真：堀内讃位

JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）
京橋駅7出口から徒歩3分／日本橋駅B3出口から4分